

令和6年度 リカレント教育講座「目指そう細胞検査士・協働しよう臨床検査技師」

「がん」は初期～早期の段階で発見することで完全治癒も期待できます。このような初期～早期の癌を自覚症状のない状況あるいは軽微な異変をきっかけに細胞レベルで検出する検査が「細胞検査（細胞診）」です。細胞検査を担う医療技術者が、学会認定試験を経て取得する細胞検査士資格を有する臨床検査技師です。がんのスペシャリストでもある細胞検査士の認定試験に合格するためには、日常業務の中で実践的に技術的側面から細胞診を学びながら、高度な専門知識に精通することが必要です。また、資格取得後も目まぐるしく進歩・変革していく医療情勢に敏感に反応し、多角的な専門知識に精通する必要があります。そこで、本講座ではがん医療に関する臨床検査と病理について考える講義と、細胞診標本を用いた実践的な鏡検実習を併せて実施し、知識・技術のインプット・アウトプットの連携を目指します。

第2回 「乳がんをより深く考える～乳がんの早期発見・治療に関わる臨床検査技師の役割～」

開催のご案内

令和6年度 第2回目のテーマは「乳がん」です。乳がんは、マンモグラフィによる乳がん検診あるいは自己触診によって初期の病変が検出されますが、確定診断のために乳腺超音波検査による画像診断と連動する細胞診・組織生検が行われます。病理形態学的診断にとって乳腺超音波検査による画像診断情報は極めて重要です。また、乳がんの治療は外科的切除法と併せて行われる薬物療法においては、がん細胞の特性に応じた治療薬が選択されます。現在ではがん細胞の特性を決定するためには病理検体を用いた分子病理学的診断が必須となっています。そこで今回のリカレント教育講座では、「エコー画像と細胞診、最終組織診断への連携による乳腺病変の検出から治療に至る過程を学ぶ」をテーマとします。乳腺外科医による乳がんの薬物療法と病理診断についての教育講演に続いて、超音波検査士による、様々な乳腺病変における乳腺超音波画像の解説を行います。実技講習では、エコー画像提示ならびに細胞診標本の観察を行い、ディスカッション形式での解説を行います。

参加対象として、

- 乳腺超音波検査ならびに病理検査業務に従事される臨床検査技師。
- 病理関連業務に従事し、これから細胞検査士資格を取得予定の方。
- 細胞検査士として病理検査業務に従事しながら、さらに知識・技術を定着させたい方。
- 「乳がん」をはじめとするがん医療、病理検査にご興味のある臨床検査技師。
- その他、看護師、診療放射線技師、医師など医療従事者の方々

など、幅広いご参加をお待ちしております。

後援：新潟県細胞検査士会・新潟県臨床検査技師会

実施要項

日時 令和6年10月27日(日) 13:00~17:05

場所 新潟大学医学部保健学科 病理系実習室 (E棟1階)

※駐車場ののご案内につきましては、お申込みされた方宛に後日ご連絡申し上げます。

プログラム

- 受付 12:45~
- 教育講演 13:00~13:40 「画像および病理診断に基いた乳がん治療」
講師：小山 諭 先生 (新潟大学医学部保健学科 教授)
- 講演 13:40~15:00 「乳房超音波検査 ~なにがどのように見えるの?~」
超音波画像と細胞診所見のコラボレーション
講師：小柳 敬子 先生 (新潟県立がんセンター新潟病院)
細胞像解説：須貝 美佳 (保健学科)
- 休憩 15:00~15:20
- 鏡検実習 15:20~17:00 「超音波画像症例の細胞診 ~ 超音波画像を反映する細胞像」
助言：小柳 敬子 先生・須貝 美佳 (保健学科)
- 閉会の挨拶 17:00~17:05 (アンケート回収) 齋藤 修・大澤 まみ (保健学科)

参加費 無料

募集人数 40名

お申込み方法 <https://forms.gle/VMG3hHALXFSxeCc6A>
または 右のQRコードよりお申込みください。



申し込み締め切り 令和6年10月24日(木)

お問合せ先 新潟大学医学部保健学科 検査技術科学専攻 須貝 美佳

TEL 025-227-0937

e-mail msugai.clg@niigata-u.ac.jp